

## 式 辞

冬の寒さも日増しに和らぎ春の息吹が感じられる今日の佳き日に、大阪府立四條畷高等学校第73回卒業証書授与式を挙行できますことは、教職員一同この上もない喜びであります。

P T A会長松浦様をはじめご来賓のP T A役員の皆様には、ご多用中にもかかわらずご臨席を賜り、厚くお礼申し上げます。また本校同窓会の皆様方には、部活動や学校行事をはじめとする生徒たちの様々な活動に対し、多大なるご支援とご尽力をいただきましたこと、深く感謝申し上げます。

保護者の皆様、お子さまのご卒業、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。この3年間、様々なご苦労があったことと拝察いたします。お子様を支え、育まれてきたことに対しまして敬意を表するとともに、これまで本校の教育活動にご協力、ご支援いただきましたことに心より感謝申し上げます。

さて、ただ今、卒業証書を授与しました354名の73期生の皆さん、卒業おめでとうございます。

73期生は、初年度となる大学入学共通テスト、英語の民間試験活用や記述式問題導入の見送り、そして、新型コロナウイルス感染拡大による臨時休業など、様々な試練に見舞われながら、それに立ち向かい、乗り越えてきた学年でした。特に4月からの臨時休業の継続により、授業や部活動、行事など、皆さんが大切にしてきた高校生活が失われました。ずいぶん辛い日々だったと思います。しかし、そのなかでも、皆さんは、再開後の学校生活において授業を大切にし、部活動で後輩をリードし、進路実現という自分の目標に真摯に向き合ってきました。特に、9月の畷高祭では、受験という制約があるにもかかわらず、後世に残る素晴らしい大劇を披露してくれました。友達との絆、クラスの絆、後輩への思い、畷高生としてのプライド、73期生の思いが一杯詰まった感動的な畷高祭でした。

「何か困難に見舞われたとき、できないとあきらめるのではなく、今できることは何かを熟慮し、他者と活発に討論する熟議を通して、最適解を導き出し、前へと進む」。皆さんは、今の世の中で最も大切なことを実践してくれたように思います。73期生の思いは、畷高の新たな伝統としてしっかり後輩へと引き継がれました。様々な逆境を乗り越え、本日卒業を迎えた皆さんに改めて大きな拍手を送りたいと思います。

さて、現在世界が直面している多くの問題は、新型コロナウイルスをはじめ、気候変動や格差の問題など、答えのないものばかりです。社会に出ると、誰もが常にこういう正解のない問題に直面します。そこで問われるのは答えを出すだけでなく、問題に取り組む姿勢、自分で考えて判断する能力、自分の言葉で語るコミュニケーション力です。ちょうどそれは、皆さんが畷高で学んだ課題研究に似ています。未知の問題に、自分なりの解決策を考え、その妥当性を根拠で示す。その仮説が間違っていた場合は、一からやり直す。実は、皆さ

んが地道に取り組んできた学びが、いま世の中で必要とされているのです。

ポストコロナの新しい時代を切り開いていくのは、皆さんのような「若い世代」であると思っております。なぜならば、皆さんには、多様性を尊重し、固定観念や過去の価値観にとらわれない広い視野と柔軟な発想があるからです。皆さんには、希望する大学や大学院に進み、希望する職業に就いて大成してもらいたいのはもちろんですが、究極の目的は皆さんが持っている才能や努力の成果を社会に還元することです。

「一隅を照らす」

もともとは比叡山延暦寺を開いた最澄が残した言葉ですが、荒廃したアフガニスタンとパキスタンで市民とともに人道・復興支援に尽力した医師中村哲先生が好んで使った言葉として脚光を浴びました。

「今いる場所で希望の灯をともし、自分が今いる場所で最善を尽くす。それが、隣人や世界をよくすることにつながる。」という意味です。

私は、畷高生にはこの「一隅を照らす」という精神が伝統的に受け継がれていると思っております。「何事にも努力を惜しまず、全力で取り組み、最善を尽くす」。皆さんが3年間実践してきたことです。この素晴らしい畷高生のDNAをこれからも大切にしてください。自分の人生を豊かにするため、社会に貢献するため、そして勇気をもって決断できるグローバルリーダーになるため、学び続けてください。

皆さんの畷高での3年間の全力疾走は、今後の人生でつらいと思った時、必ず心の支えになるはずです。そして、そこには温かく見守ってくださったご家族をはじめ、時には厳しく、時には優しく接してくださった先生方、ともに喜び、ともに涙した仲間など、多くの人たちの励ましや支えがあったことを忘れないでください。これからも皆さんが全力で頑張っている姿は必ず誰かが見守ってくれています。そして、私たち畷高の教職員はこれからもずっと皆さんの応援団です。73期生の皆さん、どうか自分らしさを大切にしながら、幸せな人生を切り拓いていってください。

結びに、皆さんの前途が健康で幸多きものでありますことを心からお祈りして、式辞といたします。

令和3年3月2日  
大阪府立四條畷高等学校長 稲葉 剛